



気象庁発表 全国1か月予報(平成29年5月29日発表)

- 全国的に暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は北・東・西日本では高く、沖縄・奄美では平年並か高いでしょう。特に期間の前半は北・東日本ではかなり高く、期間のはじめは西日本でもかなり高い所がある見込みです。
- 北・東日本は、期間の前半を中心に高気圧に覆われやすく、向こう1か月の日照時間は平年並か多い見込みです。東日本日本海側では、これに加えて、向こう1か月の降水量は平年並か少ない見込みです。

(5/31~6/30まで)



検出部のみ交換が可能

HS-501 高精度湿度センサー

新製品
紹介

本器は、検出部に高精度で高い信頼性を持つ高分子膜を使用した湿度センサーです。

湿度に対する高分子膜コンデンサーの容量変化を発信周波数の変化として捉え、0~100%測定範囲全域において高精度での湿度測定を実現しました。

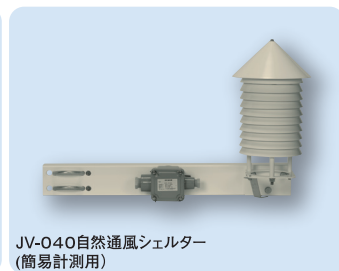
仕様

湿度測定	測定範囲:0~100%RH 測定精度:±2%(23℃において) 応答時間:約20秒
温度測定(オプション)	測定範囲:-40~60℃(標準) 測定精度:温度:±0.5℃(通風環境下において)
電源	DC7~35V
消費電力	電圧出力時:0.5W以下 電流出力時:1.5W以下 RS-485出力時:上記に加えて0.4W(終端抵抗120Ω時)
出力	電圧出力(オプション):DC0~1V 負荷抵抗10kΩ以上 電流出力(オプション):DC4~20mA 負荷抵抗300Ω以下 シリアル出力:RS-485(半二重) 内部終端なし
外径寸法	全長約260mm、最大直径約24mm(突起部、ケーブルを除く)
質量	約100g(ケーブルを除く)
ケーブル	標準:10芯ケーブル、シールド付き×2m 芯線:AWG26、出荷時はケーブル端末予備ハンダ処理
使用温度範囲	-40~60℃

- ±2%の高精度で湿度を検出(23℃において)
- 相対湿度をシリアル信号(RS-485)で出力
- 気象庁検定取得が可能(湿度/感部検定)
- 白金測温抵抗体(Pt100Ω)による温度計測も可能
- 温度、湿度ともDC0~1V、DC4~20mAのアナログ信号出力が可能
- 検出部と本体が分離でき、検出部のみ交換が可能
- 使用温度範囲-40~60℃



JS-250シリーズ 一体型強制通風シェルター
(気象庁正式測器に準拠)



JV-040自然通風シェルター
(簡易計測用)

<通風シェルター>

屋外で気温や湿度を正確に測定するためには、日射や風雨の影響を受けないよう専用設計・製作した通風筒の内部に設置する必要があります。ファンにより通風(約5m/s)するタイプと自然通風式のタイプがあります。